

2 国有林野の維持及び保存

(1) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理

① 森林の巡視及び境界の保全

東北森林管理局では、山火事や高山植物の盗採掘、ゴミの投げ捨て等低下する入山者のマナーの向上を図るため、地方公共団体や地域住民、ボランティア団体の皆さんと連携を取りながら、森林の巡視や清掃活動を行っています。

また、平成19年度は、世界自然遺産白神山地や南八甲田周辺地域など入込者が集中し、植生の荒廃等が懸念される国有林野において、国民から募集したグリーン・サポート・スタッフ(森林保護員)による巡視やマナーの啓発活動を行い、貴重な森林生態系の保全管理に取り組んでいます。

さらに、国有林野を適切に管理するため、民有林等との境界の巡視や点検等を計画的に行っています。

世界自然遺産における森林保護員の活動

米代西部森林管理署では、世界自然遺産に登録されている白神山地において、グリーン・サポート・スタッフ(森林保護員)によるきめ細やかな保全活動に取り組んでいます。

平成19年度には、植生の保全のための巡視や登山道の通行に支障となる倒木の除去を実施するとともに、訪れた人たちに対してマナーを記したチラシを配布するなど、貴重な森林生態系の保全管理に関する普及啓発活動にも取り組みました。



グリーン・サポート・スタッフが普及啓発に取り組んでいる様子

場 所:秋田県山本郡八峰町 ニツ森登山道入口(米代西部森林管理署)

森林ボランティア巡視員現地研修会

森林に対する国民の関心が高まっている中で、一部に心ない入林者による植物盗採やゴミの不法投棄が見られ、入林者へのマナー向上の啓発が必要となっています。

このため、森林ボランティアパトロール員の協力が、益々重要となっており、新パトロール員（40名）に対し活動内容「森林パトロール」「森林環境美化活動」等の周知を含めた「認証式」と、国有林入林者に対するマナー向上のための研修を「栗駒山」などで実施しました。

パトロールにより、国有林内入山者のマナーは向上してきており、登山道におけるゴミも少なくなってきましたが、今後も、更なるマナー向上に向けた啓発に取り組んでいきます。



巡視員認証式



啓発指導研修の様子

場 所：宮城県栗原市 栗駒岳国有林（宮城北部森林管理署）

西吾妻の植生回復等に関する長期モニタリング調査

吾妻山周辺森林生態系保護地域では、入り込み者の増加、不適切な歩道整備等により荒廃した植生を復元するため、平成11年から「白布峠から馬場谷地に至る歩道及びその周辺の植生変化調査」及び「馬場谷地湿原調査」を継続実施して、植生回復等の状況をモニタリングしてきました。

モニタリングについては、森林環境教育の一環として広く一般市民ボランティアを募り、モニタリング体験会を実施し、一般市民に普及啓発を図りました。

平成19年度は、植生復元事業も一定期間経過したことから、モニタリング調査結果を取りまとめ、「西吾妻の植生回復等に関する長期モニタリング調査報告会」を開催し、学識経験者、環境省、山形・福島県、自然保護団体等関係団体に、長期にわたるモニタリング調査の結果を報告し、今後の取組について助言をいただきました。



長期モニタリング調査報告会の様子



固定枠による調査の様子



平成10年9月



平成19年9月

馬場谷地東部湿原

場 所：山形県米沢市 櫛ヶ峰国有林(置賜森林管理署)

② 森林病虫害の防除

東北森林管理局管内の松くい虫の被害は、平成13年度をピークとして減少傾向にあります。平成19年度の被害量は、前年度より約1.0千 m^3 減少し、約7.4千 m^3 となりました。

地方公共団体や地域住民の皆さんと連携を取りながら、管内の森林管理署等では、被害の拡大を防ぎ貴重なマツ林を保護するため、被害木を伐採して薬剤でくん蒸する伐倒駆除等の被害対策を進めています。

一方、近年、山形県内ではナラ枯れ被害が拡大傾向にあるほか、にかほ市の三崎公園(民有林)など秋田県内へも被害が拡大しています。

森林管理署等では、県・地元関係行政機関等と「防除連絡調整会議」等の開催を通じて、民有林と一体となって防除を実施しています。

松くい虫被害の状況と対策

区 分		平成19年度	平成18年度
松くい虫被害量 (m^3)		7,387	8,386
防除	特別防除 (ha)	-	-
	地上散布 (ha)	587	587
駆除	伐倒駆除 (m^3)	5,112	3,607
	特別伐倒駆除 (m^3)	6,091	2,273

注：1 特別防除とは、空からヘリコプターを利用して薬剤を健康なマツに散布し、カミキリを駆除する。

2 地上散布とは、地上から動力噴霧機などを利用して薬剤を健康なマツに散布し、カミキリを駆除する。

3 伐倒駆除とは、被害木を伐り倒し、薬剤を散布したり、くん蒸して、カミキリの幼虫を駆除する。

4 特別伐倒駆除とは、被害木を伐り倒して、細かく砕いてチップにしたり、燃やして、カミキリの幼虫を駆除する。

ナラ枯れ被害木駆除量

区 分		平成19年度	平成18年度
駆除	薬剤注入 (本)	3,380	1,034

注：1 薬剤注入とは、幹にドリルで穴を開けてくん蒸剤を注入し、カシノナガキクイムシを駆除する。

民有林と連携した松くい虫被害の拡大防止

近年、松くい虫被害は秋田県が先端地域となっていることから、秋田森林管理署では、被害の北上と拡大を防ぐため、民有林関係者と連携して防除帯を設定して共同で被害防除を行うとともに、巡視態勢を強化し、被害木の早期発見に努めています。平成19年度は、仙北市などで17m³のアカマツを処理しました。



松くい虫防除帯



松くい虫被害木のくん蒸処理の様子

場 所：秋田県仙北市 大影小影国有林（秋田森林管理署）

松くい虫対策を念頭に置いた健全な森林整備の推進

青森県の松くい虫の被害は、確認されていませんが、防止対策について県や関係機関と防除対策を実施しています。

19年度は、秋田県境に設置した防除帯に巡視路を整備して、松くい虫被害巡視活動を4月から11月まで行いました。

また、深浦町大間越地区の防除帯（クロマツ伐採跡地）では、松くい虫被害に対する防除意識の高揚、松林の果たす様々な機能に対する認識を醸成するため、地元自治体、森林組合、中学生、ボランティア等約150名が参加して、植樹祭を実施しました。



ミズナラ、トチノキ等植樹をする中学生



植樹を終えて記念撮影

場 所：青森県深浦町 大間越国有林（津軽森林管理署）

松くい虫被害への取り組み

米代西部森林管理署では、平成19年度に秋田県山本地域振興局、能代市と連携して「風の松原」で松くい虫一斉防除の取り組みを実施しました。

5月には、松くい虫被害から松原を守る市民の活動として「風の松原を守る市民ボランティア大会」を関係団体と連携して実施し、約850人が松枝拾いや松林のクリーンアップに参加しました。

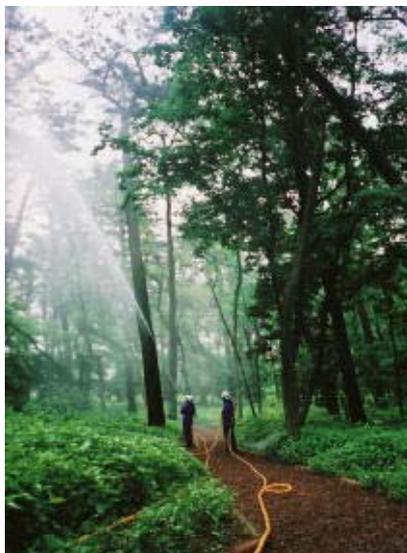
また、6月には機械と人力により薬剤散布を行いました。「風の松原」は市民の憩いの場となっていることから、事前に地元説明会や、市の広報紙を活用して市民にお知らせして松くい虫の安全な防除に努めました。



枯れ枝を運ぶ高校生達



機械による散布状況



人による散布状況

場 所: 秋田県能代市 後谷地国有林(米代西部森林管理署)

③ 保安林の適切な管理

東北森林管理局管内の国有林野は、奥地脊梁山地や水源地域に広く分布していることから、国土保全や水源かん養の上で重要な森林が多く存在しています。

このため、平成19年度末では、国有林野面積の約90%に当たる149万haが保安林に指定されています。

これらの保安林においては、伐採等が制限されているほか、保安林としての機能の維持・向上のため、間伐や複層林への誘導等の森林整備を積極的に進めるとともに、効率的な管理のための路網整備や、山地災害防止などのための治山施設の設置を行っています。

東北森林管理局国有林の保安林指定状況

区分	箇所	面積(ha)	区分	箇所	面積(ha)
水源かん養保安林	1,418	1,329,192	防霧保安林		
土砂流出防備保安林	440	149,255	なだれ防止保安林	71	3,230
土砂崩壊防備保安林	117	2,931	落石防止保安林	1	20
飛砂防備保安林	20	1,283	魚つき保安林	15	788
防風保安林	31	2,053	航行目標保安林		
潮害防備保安林	49	774	保健保安林	267	76,788
干害防備保安林	88	11,331	風致保安林	21	3,016

注：1 平成20年4月現在の数字であり、国有林野面積には官行造林地を含まない。

2 重複指定あり。

海岸防災林造成のための治山工事

庄内地方では、藩政時代から日本海から吹く風と飛砂に生活が脅かされており、人々は常に自然の厳しさや脅威と闘っていました。このため、北は遊佐町から南は鶴岡市までの海岸線に34kmもの海岸砂防林を造成しました。

平成19年度は、浸食を受けた箇所の砂を安定させるため、海岸砂防林から海岸に植生している草地に防浪垣292m、丘頂垣109m、砂丘垣34mを施工しました。



砂丘垣を施工している様子



防浪垣の完成

場所：山形県酒田市 飯森山西国有林（庄内森林管理署）

(2) 保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保存

① 保護林の設定及び保全・管理の推進

東北森林管理局管内では、白神山地が世界遺産に登録されるなど、国有林野には、原始的な森林生態系や貴重な動植物種が生息・生育する森林が多く残されており、

国有林野事業では大正4年に保護林制度を発足させ、東北森林管理局では、大正5年に津軽森林管理署管内で「大鱒天然スギ、ヒバ混交保護林（植物群落保護林）」を設定するなど、貴重な森林の保全・管理に努めています。

平成19年度には、これらの保護林の適切な保全・管理の一環として、植生の回復や保護柵の設置を行うとともに、歩道や案内板の整備を進めています。

保護林の設定状況

(単位：箇所、ha)

保護林の種類	目的	箇所数	面積	指定地域名
森林生態系保護地域	森林生態系の保存、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保存	8	119,566	白神山地、恐山山地、早池峰山周辺、栗駒山・栃ヶ森山周辺、朝日山地 他
森林生物遺伝資源保存林	森林生態系を構成する生物全般の遺伝資源の保存	2	7,601	八甲田山 奥羽山脈北西部
林木遺伝資源保存林	林業樹種と希少樹種の遺伝資源の保存	41	537	佐藤ヶ平ヒハ ^ハ 、十二神山ミス ^メ 、幸屋ウダイカン ^ハ 、仁別スキ ^キ 、八間山クロマツ 他
植物群落保護林	希少な高山植物、学術上価値の高い樹木群等の保存	64	70,758	八幡平、侍浜松、蔵王、仁鮎水沢スキ ^キ 、月山 他
特定動物生息地保護林	希少化している野生動物とその生息地・繁殖地の保護	7	517	魚取沼鉄魚、森吉山クマケ ^ラ 、鶴間池モリアオガ ^{エル} 他
特定地理等保護林	岩石の浸食や節理、温泉噴出物、氷河跡地の特殊な地形・地質の保護	2	9	猿ヶ森ヒハ ^ハ 埋没林、法体の滝
郷土の森	地域の自然・文化のシンボルとしての森林の保存	6	1,101	みろくの滝、天正の滝、おぐに白い森 他
合計		130	200,089	

注：1 平成20年4月1日現在の数値である。

仁鮎水沢スギ植物群落保護林の整備活動

仁鮎水沢植物群落保護林は、木曾ヒノキや青森ヒバとともに日本三大美林といわれる天然秋田スギの代表的な森林です。

昭和22年に保護林に指定され、現在まで大切に保護されています。

保護林内には、日本一の天然秋田スギである「きみまち杉」(樹高58m、胸高直径164cm)をはじめ、樹高50mを超える天然秋田スギが林立し、林齢250年(180~300年程度)に至った現在でも盛んに成長を続けています。

保護林内(18.46ha)には、歩道が整備されており、1周を約30分で散策できますが、この歩道の一部が老朽化したことから、平成19年度、腐朽部分を約114m補修しました。



歩道を修繕している様子



補修後の木道

場 所: 秋田県能代市 田代沢国有林(米代西部森林管理署)

② 「緑の回廊」の整備の推進

国有林野事業では、野生動植物の生息・生育地を結び移動経路を確保することにより、個体群^{注1)}の交流を促進して、種の保全や遺伝的な多様性を確保するため、保護林を連結したネットワークを形成する「緑の回廊」を設定しています。

東北森林管理局管内の緑の回廊（900km）では、林内空間・照度の確保及び採餌空間の確保のための抜き伐りを行うなど、野生動植物の生息・生育環境に配慮した森林施業を行っています。

また、森林の状態と野生動植物の生息・生育環境の関係を把握して森林施業に反映するためのモニタリング調査を実施しています。

さらに、国有林だけでは緑の回廊として幅が確保できない場合などは、必要に応じて隣接する民有林においても協力をいただいて、緑の回廊を設定するよう努めています。

緑の回廊の設定状況

名 称	面積(千ha)	延長(km)
奥羽山脈緑の回廊	73	400
白神八甲田緑の回廊	22	50
北上高地緑の回廊	27	150
鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊	47	240
八幡平・太平山緑の回廊	11	60
東北森林管理局管内計	179	900
全国計	508	1,886

注1：平成20年4月現在の数値である。

注2：四捨五入により計が一致しない場合がある。

動植物の生息・生育環境の保全

秋田森林管理署では、「保護林」の機能を高度に発揮させるよう「保護林」を連結して森林の連続性を確保し、森林生態系の一層の保護・保全を図ることにより、生物多様性の維持に資するために「八幡平太平山緑の回廊」を設定しています。

平成19年度は、林内空間や照度の確保及び採餌環境整備を図る観点から針広混交林に誘導するため、3区域で6.56ha抜き伐り(間伐)を実施しました。



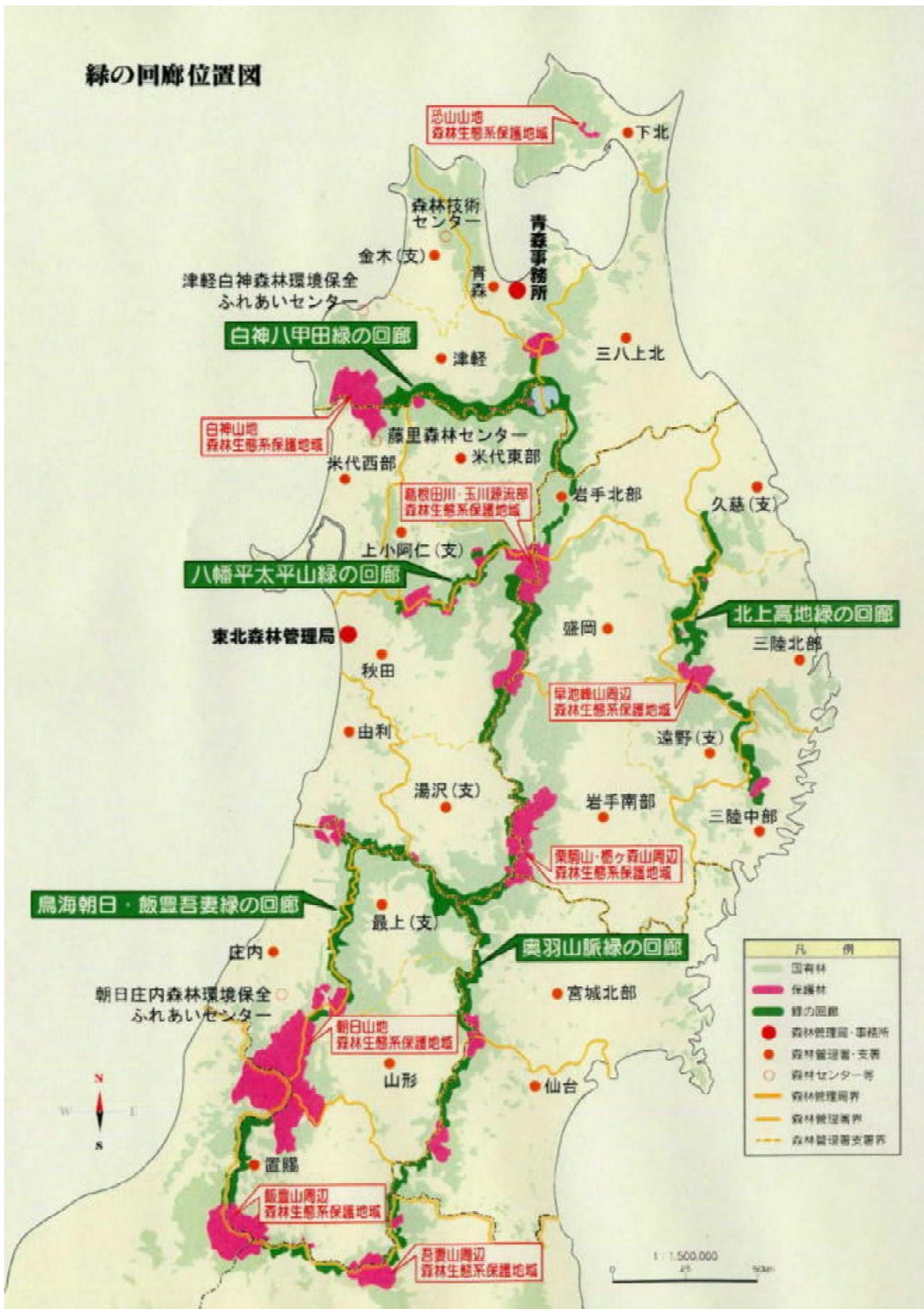
抜き伐り前の林内



抜き伐り実施後

場 所：秋田県仙北市 財ノ神国有林(秋田森林管理署)

緑の回廊位置図



③ 野生動植物の保護管理への取組

東北森林管理局では、国有林野内に生息・生育する貴重な野生動植物の保護等を進めるため、「希少野生動物種保護管理事業」や「保護林保全緊急対策事業」等を実施し、生息・生育状況の把握や生息・生育環境の維持、整備を進めています。

平成19年度には、イヌワシ等の餌場環境や餌となる動物の生息環境を整備するため、6森林管理署等において、約12haの抜き伐りを行いました。

猛禽類に配慮した森林施業の推進

最上支署において、希少野生動物種であるクマタカの保護管理のため、学識経験者等と連携し、その生息・生育環境に適する施業の確立に向けて調査を行っています。

平成19年度は、過去の調査に引き続き、猛禽類の生息・生態等を把握するとともに、列状間伐等の森林施業によるクマタカの生育環境改善効果についての解析等を行い、これらの成果も踏まえて、猛禽類に配慮した森林施業を推進しています。



調査箇所の列状間伐実施地

場 所：山形県最上郡金山町 蒲沢山国有林(山形森林管理署最上支署)

④ 地域やNPO等との連携による保護活動の推進

東北森林管理局では、地域住民や環境保護に関心が高いNPO等の皆さんと協力しながら貴重な野生動植物の保護や自然環境の保全を進めていくため、高山植物の盗採掘の防止や希少野生動植物の生息・生育環境の保全のための巡視を委嘱したり、意見交換等を行っています。

巡視員の活動状況

巡視員名	主な活動内容	H19年度巡視員(人)
白神山地世界遺産地域 巡視員	登山道の清掃、密漁・高山植物の盗掘の点検、啓発用リーフレットの配布等	43
東北森林管理局フォレストボランティア	各森林管理署管内の林道、登山道等の巡視、密漁・高山植物の盗掘防止のパトロール等	751
朝日山地森林生態系保護地域巡視員	入山マナーの普及啓発、高山植物の盗掘等の点検、登山道の荒廃状況、危険箇所のチェック等	72

地域との連携による高山植物や自然環境等の適切な保全管理の推進

湯沢支署では、栗駒山周辺地域を中心とした国有林内で、遭難や高山植物の盗採等を防止するため、NPO、地元自治体等と連携して登山者等へ啓発活動を行っています。

平成19年度は、看板の設置やチラシ配布等、啓発活動に努めたほか、遭難防止パトロールや高山植物盗採防止のための検問、栗駒山周辺のクリーンアップを行いました。



高山植物の盗採を監視する検問の様子



クリーンアップの様子

場 所：秋田県東成瀬村 仁郷山国有林外（秋田森林管理署湯沢支署）

⑤ 環境行政との連携

東北森林管理局では、国有林野の優れた自然環境を保全管理するため、希少野生動植物種保護管理事業や国立公園の整備事業等について、環境省や県の環境行政機関と連絡調整や意見交換を行っています。

また、自然環境保全地域における学術調査、国立公園における登山道や木道の整備、案内板の設置を共同で行っています。

このほかにも、東北森林管理局が主催する朝日山地森林生態系保護地域管理委員会等の各種検討会に環境行政関係者の参加を求めたり、地域管理経営計画案の作成に先立つ連絡調整を行っています。

白神山地世界遺産地域の合同パトロールと巡視員会議の開催

平成19年度の白神山地世界遺産巡視員会議は、青森県側が5月に、秋田県側が6月にそれぞれ開催されました。ボランティア巡視員や委嘱巡視員への交付式が行われた後、関係機関による事業の概要について説明が行われました。

また白神山地世界遺産地域合同パトロールは、巡視員のほか、関係機関の協力を得て、それぞれ青森県側と秋田県側で行われました。

パトロールは、入山者へのマナー遵守の呼びかけやパンフレットの配付などゴミの投棄状況や歩道に危険箇所がないかなど確認しながら行われました。特に危険な箇所やゴミの投棄など悪質な行為も減ってきており、地道な活動が入山マナーの向上に結びついてきています。



溪流を渡る合同パトロール隊



青森県側の巡視員会議

場 所：青森県鱒ヶ沢町、秋田県八峰町

環境行政機関との連絡会議の開催事例

会議の名称	環境行政機関名	主な内容
東北地方連絡会議	東北地方環境事務所	地域管理経営計画の策定、グリーン・サポート・スタッフの取組、国立公園計画の見直し、国指定鳥獣保護区の設定等についての情報・意見の交換
東北ブロック自然再生担当者会議	国土交通省、環境省、農林水産省	東北地方における自然再生の推進に係る関係機関の連携
東北地域都市と農山漁村の共生・対流連絡会議	東北農政局、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、東北6県	都市と農山漁村の共生・対流に係る意見交換、関係機関の連絡調整など
ツキノワグマ保護管理検討委員会	岩手県、盛岡市、遠野市、岩泉町	県内に生息するツキノワグマの保護管理全般の検討
秋田県環境審議会	秋田県	自然環境保全地域、自然公園、鳥獣保護事業に係る審議のため、自然環境保全基本方針の策定、自然公園計画の決定、鳥獣保護区の指導等について審議
山形県環境審議会	山形県	自然環境保全、自然公園事業に係る審議のため、里山環境保全地域の指定、公園事業の決定について審議
朝日山地森林生態系保護地域管理委員会	環境省羽黒自然保護官事務所、山形県、新潟県、山形県鶴岡市、新潟県朝日村	朝日山地森林生態系保護地域の保全管理のため、モニタリングの実施状況、ボランティア巡視、生態系保護地域の歩道などについて検討
朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議	環境省羽黒自然保護官事務所、巡視員(局長委嘱)	朝日山地森林生態系保護地域の保全管理のため、局長が委嘱したボランティア巡視員等による意見交換
白神山地森林生態系保護地域巡視員会議	環境省西目屋自然保護官事務所、藤里町、鱒ヶ沢町、西目屋村他、巡視員(局長委嘱)	白神山地森林生態系保護地域の保全管理のため、局長が委嘱したボランティア巡視員等による秋田県側、青森県側での意見交換